

事業所名

児童発達支援センター ぞうさんの足音

支援プログラム

作成日

2024 年

12 月

12 日

法人（事業所）理念		田場医院施設内に、地域のお子さんやそのご家族への相談、援助・助言を行う児童発達支援事業を行っております。医師、言語聴覚士、臨床心理士、発達心理士、保育士の各分野のプロフェッショナルと親御様が力を合わせ、お子さんの健やかな発達を支援します。					
支援方針		一人ひとりをよく観察・分析して、よい部分をグングン伸ばし、そうでない部分は減らしていく。ABA（応用行動分析）というメソッドを実践しています。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	ABA療育では、「できた！」という経験を積み重ねることで、子どもが楽しく生活スキルを身につけられるようにします。視覚的なサポート・シンプルなルール・ごほうびの活用を工夫しながら、少しずつ自立を促していきます。					
	運動・感覚	ABA（応用行動分析）を活用すると、子どもが楽しく体を動かしながら、運動能力や感覚の調整力を身につけることができます。運動や様々な感覚に触れることが苦手なお子さんでもスモールステップで参加することが出来るようになります。粗大運動・微細運動の他にも、自律神経を整え、衝動的な行動を抑えるための落ち着きを促す運動や呼吸法を実践したり、順番を守る、指示を聞く力をつける集団活動での運動活動にも取り組みます。					
	認知・行動	子どもが物事を理解し、自分で考えて行動できるようになることを目指します。そのために、スモールステップの手法を用い少しずつ成功体験を積み重ねていきます。例えば、「靴を履く」という動作も、片方だけ履くことから始め、徐々に両足、靴ひもを結び練習へと進めます。さらに、成功したときにはすばやくほめることで、子どもが「できた！」という達成感を味わい、自信を持てるようにします。環境を整え、適切なタイミングで支援を行うことで、子どもが自分で考え、行動できる力を育てていきます。					
	言語 コミュニケーション	言葉の発達を促すためには、子どもが「伝えたい」「話したい」と思える環境を整えることが大切にします。まだ言葉が出にくい場合は、指さしやジェスチャーを活用しながら、少しずつ伝える力を引き出していきます。例えば、子どもが「りんご」と言ったら「赤いりんごだね！」と返すことで、自然な形で言葉を広げるサポートをします。さらに、言葉を引き出すためには【必要最小限のお手伝い】を【必要なタイミングでする】ことが重要です。少しずつ自分で言葉を発する機会を増やしていきます。このように、子どものペースに合わせたアプローチを行いながら、無理なく言葉の発達を促していきます。					
	人間関係 社会性	人との関わりがスムーズにできるようになるためには、まずは「順番を守る」「交代する」といった基本的なルールを学ぶことが重要です。例えば、おもちゃの貸し借りや、簡単なルールのある遊びを通して、自然に順番を意識できるようにします。また、ごっこ遊びを取り入れることで、他者の立場を理解し、役割を持って行動する力を育てます。感情表現の練習も重要で、「うれしい」「悲しい」などの気持ちを言葉や表情カードで示しながら、自分の感情を適切に伝えられるように支援します。さらに、ルールのある遊びを通して、社会の決まりを学び、「決まりを守ると楽しい！」という成功体験を積み重ねていきます。こうした経験を増やしなが、人との関わりを前向きに感じられるよう支援していきます。					
家族支援		ぞうさんの足音が大切にしているのは「お子さんの力」と「ご家族の勇気」です。ABAはプロでないとできないわけではありません。その必要性和効果を理解すればご家族でもサポートが可能です。ぞうさん足音では、ご家族自身がお子さんの専門家になり、早期療育を主導していけるようサポートします。			移行支援		文部科学省と厚生労働省による「家庭と教育と福祉の連携『トライアングル』プロジェクト」に参画し、児童発達支援における移行支援を強化します。家庭・園・地域と連携し、①個別支援計画に基づくスモールステップの目標設定、②就学先と連携した環境調整、③ソーシャルスキルトレーニング（SST）の実施、④親支援を含む情報共有の場の提供などを行い、子どもがスムーズに次のステージへ移行できるようサポートします。
地域支援・地域連携		専門スタッフが保育所等を訪問し、次のような専門的支援を行います。 ①障害児本人に対する支援：集団生活適応のための訓練等 ②訪問先施設のスタッフに対する支援：支援方法等の指導等 ③訪問は、障害のある児童の支援に関する知識及び相当の経験を持つ児童指導員・保育士・理学療法士・作業療法士・心理担当職員等が担当します。			職員の質の向上		NPO法人つみきの会と提携を結んでいます。テキストを利用した療育を行ない、つみきの会・NOTIAの継続的なコンサルティングを受けています。定期的なスタッフ研修を行い、ABAセラピーのスキル向上に努めています。またつみきの会認定ABA療育支援員の資格を取得したスタッフが療育に携わっています。
主な行事等							